資料４

蔵王町統合中学校計画概要書

令和３年９月７日

蔵王町

１　蔵王町における教育方針等

(1) 第五次蔵王町長期総合計画（平成30-39年度）

○町では、総合的かつ計画的な行政運営を図るため、10年間の計画「長期総合計画」を策定し、まちづくりを進めています。

※詳細については蔵王町ホームページを参照願います。

https://www.town.zao.miyagi.jp/kurashi_guide/shisaku_machi/shisaku_machi/daigozityousou.html

1.基本理念

4つの基本理念を大切にまちづくりを進めます。

郷土愛の醸成
町民力の結集
結いの精神
助け合い

2.まちの未来像

本町の豊かな自然を愛する心、人を愛する心、郷土を愛する心で、魅力あるまちづくりのために「ずっと愛にあふれるオンリーワンなまち・ざおう」を目指します。

3.まちづくりの基本方針

まちの未来像の実現のため、施策の柱となる5つの基本方針を定めます。

健やかなまちづくり（保健・医療・福祉）
学び楽しむまちづくり（教育・文化・スポーツ）
美しい快適なまちづくり（環境・生活基盤）
活気あるまちづくり（産業）
共に創るまちづくり（町民参加・安全・行政運営）

4.重点戦略

重点的に取り組むまちづくりの3つの戦略項目を掲げ、重点的に取り組んでいきます。

「ずっと住み続けたい快適な環境づくり」

教育環境の充実と、国際化に対応した「人」づくり、みんながずっと住み続けたいと思える快適なまちづくりを進め、「蔵王の環境」がまるごとブランドとなるまちを目指します。

「愛にあふれるふるさとづくり」

町民一人一人が愛情あふれる笑顔に満ちた家庭を築くとともに、「蔵王町」に誇りと愛着を持ち、愛にあふれるふるさとづくりを目指します。

「オンリーワンな魅力づくり」

蔵王の雄大な自然や多種多様な産業は、蔵王町を特徴づけるものであり、誇れるものです。これらのモノや環境など独自の魅力を磨き上げ、発信することで、オンリーワンな魅力あるまちを目指します。

(2) 蔵王町教育基本方針

蔵王町教育委員会は、宮城県の教育基本方針及び蔵王町町民憲章をふまえ、町の教育課題を的確に把握し、「知・徳・体」の調和のとれた良識ある人間の育成を目指し、

・命を尊び心豊かでたくましい人間性を培う学校
・感謝をもって隣人と親しみ、礼儀を重んじる地域社会
・伝統を重んじ、知識を深め文化に志向する町民
・感動や活気に満ちた生涯スポーツ

・蔵王の自然と共生する住みよい環境郷土
を基本に、その実現に務める。

(3) 蔵王町学校教育の重点施策「グローカル５」　・・・・【資料１】

○蔵王町では、「第五次蔵王町長期総合計画」に基づき、新たな学校教育の充実を図るため「ざおうグローカル５」を進めています。

○「ざおうグローカル」とはグローバルとローカルを組み合わせた造語で、生まれ育ったざおう（ローカル）で学んできた教育や貴重な経験を通して、大人になったときに国際社会（グローバル）の中で活躍できる人材育成を目指します。

○ざおうグローカル５

1. 学力の向上
2. 人間関係づくり
3. 英語教育特区
4. ICT（情報通信技術）教育
5. 安全・安心な学校づくり

２　蔵王町統合中学校における教育方針等

(1) 統合中学校の教育目標（案）

○統合中学校の教育目標は、既存３中学校の良さを継承することとし、以下の通りとする。

・「自主」自ら学ぶ、広く深く考える生徒
・「敬愛」感謝と思いやりの心を持つ生徒
・「活力」健康で心身共にたくましい生徒

(2) 統合中学校の教育方針（案）

○ふるさと蔵王町を誇りに思い、たくましく生き抜く力を身に付けた、蔵王町で、そして広く国際社会で活躍する人材育成を目指す

○課外授業の方針：志教育の充実を図る多様な体験活動

１年　「蔵王を知る」　町内の自然・文化体験活動
２年　「蔵王を体験する」　職場体験学習
３年　「ふるさと蔵王を発信する」　東京などの修学旅行で、蔵王町ＰＲ活動を行う。

＜参考＞町内中学校（既存）の概要

(1) 円田中学校

・開校：昭和22年4月　円田村立円田中学校として開校
・教育目標
　－教育基本法等の関連法令及び県・管内・町の教育方針を踏まえ、生徒の実態や地域の実情に即応し、「健康で豊かな感性」と「確かな学力」を備え、何事にも創造的・主体的に取り組む、たくましい生徒の育成を目指し、次の目標を設定する。
　　－ 自ら考え学習する生徒（自主）
　　－ 自他を愛し協力する生徒（友愛）
　　－ 心身たくましい生徒（健康）
・特色
　－ 志教育の充実を図る多様な体験活動「蔵王を知る」「職場体験学習」「仙台自主研修」「ふるさと蔵王の発信」の実施。
　－ 多彩なゲストティーチャーを招いて、社会の風を学校に取り込む。
　－ 生徒や保護者に対して種々のアンケートや調査を実施し、授業や指導の改善を図る。
　－ さまざまな場面で、考えて行動できるような、防災訓練の実施。

(2) 宮中学校

・開校：昭和22年4月　宮村立宮中学校として開校

・教育目標
- 「健康にあふれ、心豊かな、創造力と実践力に富む生徒の育成」
---優しく　賢く　逞しく---
- 目指す生徒像
- 夢をもち、夢を奏で、創造的に生きる生徒
- 故郷の自然や人々を敬い、愛し、優しさをもって生きる生徒
- 向学の意気に燃え、勤しみ、賢さをもって生きる生徒
- 心も体も健やかに夢を開く逞しさをもって生きる生徒

・特色
- 朝の活動での「読書活動」の実践。
- 蔵王に学ぶ「蔵王登山」「職場体験」「スキー教室」「樹氷めぐり」の実施。
- 夢をはぐくむ「志を語る会」（2年）と修学旅行での「ふるさとPRプロジェクト」（3年）の実施

(3) 遠刈田中学校
・開校：昭和22年4月　宮村立遠刈田中学校として開校
・教育目標
- 学ぶ意欲にあふれ、心豊かで、健康でたくましく生きる生徒の育成
- 自主：自ら学ぶ、広く深く考える生徒
- 敬愛：感謝と思いやりの心を持つ生徒
- 活力：健康で心身ともにたくましい生徒

・特色
- 修学旅行「ふるさとPR活動」
- 遠中祭で、地域の人や歴史を題材とした創作劇と、創作太鼓を披露。
- 全校生徒が毎月のテーマに基づきスピーチを行う「心の集会」を行う。
- 地域防災訓練の実施。

３　蔵王町統合中学校整備方針

※「蔵王町統合中学校　整備基本計画（案）」（令和３年３月）【資料２】については、再検討により、一部変更があります。

(1) 基本方針（基本計画案）　※「蔵王町統合中学校　整備基本計画（案）」（令和３年３月）より

１　高機能かつ多機能で変化に対応し得る弾力的な施設環境の整備
・教育内容・教育方法等の変化などに対応して、多様な学習内容・学習形態やＩＣＴを日常的に活用できる高機能かつ多機能な学習環境を確保し、更に、今後の学校教育の進展や情報技術の進展等に長期にわたり対応することのできるような柔軟な計画とする。

２　健康的かつ安全で豊かな施設環境の確保
・生徒等の学習及び生活の場として、また、教職員の働く場として、日照、採光、通風等に配慮した良好な環境を確保するとともに、障害のある生徒にも配慮しつつ、十分な防災性、防犯性など安全性を備えた安心感のある施設環境を形成する。
・また、生徒がゆとりと潤いをもって学校生活を送ることができ、他者との関わりの中で豊かな人間性を育成することができるよう、生活の場として快適な居場所を計画する。
・さらに、それぞれの地域の自然や文化性を生かした快適で豊かな施設環境を確保するとともに、環境負荷の低減や自然との共生等を考慮する。

３　地域の生涯学習やまちづくりの核としての施設の整備
・地域住民にとって最も身近な公共施設として、まちづくりの核、生涯学習の場としての活用を一層積極的に推進するためにも、施設のバリアフリー対策を図りつつ、必要に応じ他の文教施設等との連携や地域の避難所としての役割を果たし、また、景観や町並みの形成に貢献することのできる施設として整備する。

(2) 基本方針に基づく整備方針（案）

１.基本的な施設機能

ア.多様な学習内容・学習形態に対応できる施設

- 少人数指導を実現するため、各学年に少人数教室を整える。
- ICT（情報通信技術）教育を可能とするため、普通教室、特別教室、体育館、職員室等への大容量WiFi環境を整備する。
- 今後の学校教育の進展や情報技術の進展等に長期に渡り対応できる施設とする。

イ.十分な防災性、防犯性など安全性を備えた安心感のある施設

- 耐震性、防火性に優れた建造物の構築を図る。
- 生徒の安全、外部侵入者から敷地入口が門扉等閉鎖できるようにする。
- 死角になる部分を少なくすることによって安全性を高める。

ウ.生徒がゆとりと潤いをもって学校生活を送ることができる施設

- 生徒がゆとりをもって学べるよう､教室の広さに国基準より広い余裕のあるものとする。

エ.他者との関わりの中で豊かな人間性を育成できるよう、生活の場として快適な居場所となる施設

- 生徒同士が自由に教育活動や交流ができる学年ごとの多目的スペース整備を検討する。
- 障害を持つ生徒が学ぶ特別支援教室と普通学級生徒が交流できる場がもてるよう配慮する。

２.環境負荷の低減や自然との共生を考慮した施設

ア.環境に適応し易い施設

- 蔵王町の自然環境の中に新中学校は建てられるので、生徒の健康に負荷が少なく、環境に適応し易い学校環境の整ったものとする。

イ.環境負荷の低減を図れる施設機能

- 自然採光、自然換気、太陽光発電等の自然エネルギーを活用した地球環境に配慮することにより、生徒への環境・エネルギー教育の教材として活用を図る。

ウ.町有林の木材を使用した施設

- 木との触れ合い、あたたかさとぬくもりが生徒・教職員の心を癒すよう、町有林の木材を使用して木質化を図る。

※使用する木材は､町有林の一部10ヘクタール､林齢53年生の樹種スギを予定しています。

エ.建物のライフサイクルコストの低減を図れる施設

- ライフサイクルコストを総合的に評価し、イニシャルコストとランニングコストのバランスを考慮した施設とする。
- シンプルな形状やコンパクトな動線計画によるコスト縮減を図るだけでなく、機能性、施工性、耐久性の向上を検討する。

３.景観や眺望に配慮した施設

ア.景観や町並みの形成に貢献できる施設

- 蔵王町景観条例で設定されている景観計画区域は、新中学校建設地西側から遠刈田温泉までの県道沿線が指定され蔵王山が見える景観形成を大切にしているので、新中学校全体が地域の景観や町並みを損なわないよう配慮する。

イ.建物から蔵王山の眺望

- 秀峰蔵王の東麓に位置する新中学校の建設地は蔵王連峰の眺望が大変良い場所にある。蔵王山は町民の誇りであり、生徒が３年間学校生活を送る上で蔵王町を誇りに自然を大切にするよう、学校からの蔵王連峰の眺望を確保するよう配慮する。

４.まちづくりの中での役割

ア.周辺公共施設との連携

- 隣接するふるさと文化会館内の大ホールや図書館や駐車場を学校行事で活用でき､また、学校の体育館は大人数収容する町の講演会やスポーツ大会にも活用できるよう連携を図る。

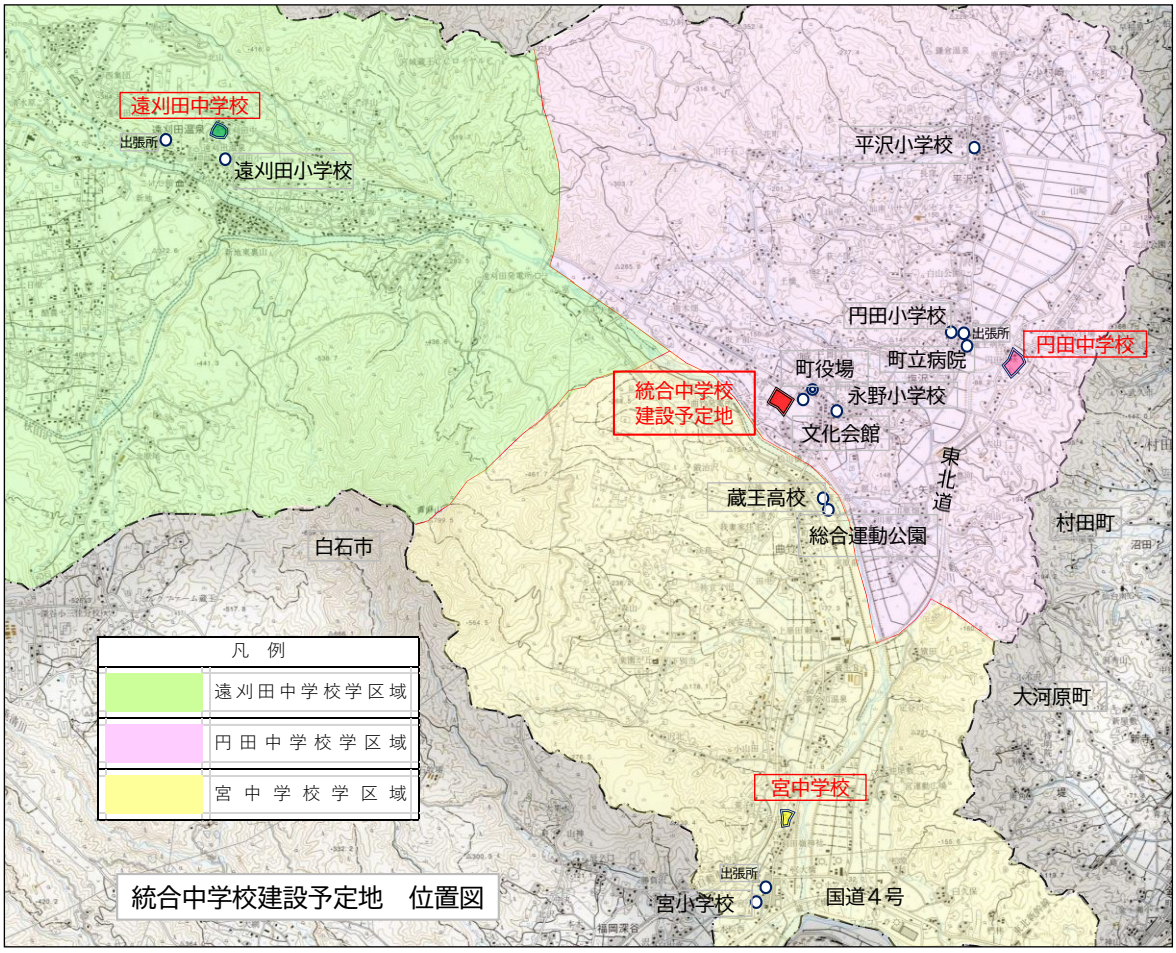
イ.地域防災に配慮した施設

- 体育館を災害時の地域の避難場所としても活用できるよう、避難所機能も備えた施設とする。

4　蔵王町統合中学校計画概要

(1) 敷地概要・・・【資料３】【資料４】

○位置：宮城県刈田郡蔵王町大字円田字西浦上地内・・・【資料３】



○面積：46,454m2（約4.64ha）・・・【資料４】

○敷地の状況等

・現況：農地（地目：田）
　－ 現在は残土仮置中
　－ 農地転用：要
　－ 農地法第5条：適用対象外
　－ 南北高低差：約6m

・統合中学校計画に合わせて造成予定
　－ 盛土工事による敷地の嵩上げ予定：現況田面から＋0.9mから4.0m
　－ 農業用水路の移設
　－ 現況水路6系統：開発後も現況と同等の水量確保要

・支持地盤：玉石混り砂礫層：深さ　約4.5m
　※詳細はボーリングデータ（近隣）参照・・・【資料５】

・支持地盤より上方：N値の低い砂質土・粘性土

・早期盛土、圧密沈下促進（3から5年）

○周辺道路（既存）　※詳細は計画図参照・・・【資料６】

・（北）町道西浦谷地線：改良予定、L=470m、W=5.5+2.5(9.5)

・（東）町道西浦杉ヤラ線：改良予定、L=270m、W=5.5+2.5(9.5)

・（南）町道永野棚村線：改良予定、L=380m、W=4.0(5.0)
・（北）農道西浦上線：付け替え予定、L=190m、W=4.0
○都市計画：都市計画区域内、非線引き都市計画区域
・開発許可要
○用途地域：指定なし
○建ぺい率／容積率：70%／200%
○防火地域・準防火地域：該当なし
○建築基準法第22条区域内
○積雪荷重：積雪量75cm
○融雪型火山泥流の浸水想定範囲：計画地南側が含まれる（浸水深0.5m）・・・【資料７】
・現状地盤から1m以上の盛土により浸水を防ぐ造成計画とする
＜参考＞蔵王町（遠刈田温泉・農村集落地区）景観計画区域：外

(2) 計画概要

○土地利用計画
・中学校敷地
- 校舎、屋内運動場、武道場、駐輪場、駐車場、屋外運動場等　※プールは建設しない
・給食センター用地（将来建設予定地）
- 10年以内の建設予定
- 統合中学校整備においては、3,000m2程度の用地確保のみ
- 位置については、搬入動線、校舎との関係を整理し安全性、利便性を考慮
- 蔵王町内小中学校の給食提供を想定：1,000食程度
・調整池　※掘込み式を想定しているが、校庭埋設型も整備コスト等により検討余地あり
- 宮城県「防災調整池設置指導要綱」（平成8年1月）による計画
- 単位流出抑制容量：平野部恒久防災調整池基準　750m3/ha　※宮城県との調整が必要となります。
- 調整池容量：約3,600m3
- 放流先：町道西浦ヤラ線を横断、計画地東部の農業用水路に接続
・アプローチ
- 生徒・教職員・来客等（徒歩、自転車、車両等）、スクールバスの校舎へのアプローチは、敷地北側の町道西浦谷地線、若しくは東側の町道西浦杉ヤラ線からを想定する
- 生徒等の安全確保の確保を優先に、人、車両の動線を計画する
※「蔵王町統合中学校基本計画」（令和3年3月）に記載のあるゾーニング、土地利用計画については、建築物の面積等の算定のための想定であり、プロポーザルの技術提案を拘束するものではありません。

○建築計画　※面積については想定
・校舎（管理諸室、普通教室、特別教室など）：延べ床面積　約4,300m2
- 管理諸室：　約725m2
- 教室：　約980m2
  - 普通教室：6教室
  - 特別支援教室：3教室
  - 多目的教室：3教室　※学年ごと1教室
- 特別教室：　約1,005m2
- 共用部分：　約1,530m2
・屋内運動場：　延床面積　約1,500m2
・武道場：　延床面積　約450m2
・その他：　延床面積　約90m2
- 屋外倉庫・部室：　約90m2
- 駐輪場（屋根付き）　120台分

・合計：　延床面積　約6,340m2

○構造
※記載の構造は想定であり、具体的計画内容、コスト比較等により、他の構造、階数につ

いても検討の余地あり
・校舎：鉄筋コンクリート造、3階建て
・屋内運動場：鉄筋コンクリート造一部鉄骨造

(3) 概算工事費（建築関係）

○建築工事：　2,299百万円
○外構工事：　94百万円

○総事業費：　2,393百万円
※金額は消費税込みの額
※建築工事：校舎、屋内運動場、武道場、付帯施設
※造成、グラウンド整備は含まない金額

(4) スケジュール・・・【資料１２】

○造成
・実施設計：令和3年度から令和4年度
・工事：令和5年度から令和6年度
○周囲道路整備
・設計：令和3年度から令和4年度
・改良工事：令和5年度から令和6年度
・舗装工事：令和8年度
○建築
・設計者選定プロポーザル：令和3年度
・基本・実施設計：令和3年度から令和5年度
・工事：令和7年度から令和8年度
○外構・グラウンド整備
・工事：令和7年度から令和8年度

○統合中学校開校：令和9年度（2027年度）

※その他
・「蔵王町立中学校統合準備委員会」「庁内検討委員会」等に進捗状況等を報告しながら事業を進めることとしています。

５　所要室等

（1）所要室等一覧　※面積は目安として示しています。

区分	所要室		室数	面積(m2)	備考
校舎					
	管理諸室				
		校長室	1	65	
		職員室（受付、放送室、湯沸室含）	1	170	
		学校事務支援室	1	45	
		保健室（洗体設備設置）	1	70	
		カウンセリング室	1	30	
		会議室	1	70	
		生徒会室	1	40	
		ＰＴＡ室	1	40	
		資料室（旧中学校３校資料等）	1	40	
		物置20㎡・書庫20㎡・印刷室10㎡	1	50	
		職員用更衣室（男女各10㎡）	1	20	
		職員・外来者トイレ（男女各10㎡）	1	20	
		相談室（10㎡2室）	2	20	
		配膳室	1	25	
		放送室（生徒活動）	1	20	
		小計		725	
	教室				
		普通教室（80㎡×6教室）	6	480	
		特別支援教室（40㎡×2室+60㎡=140㎡）	3	140	
		多目的教室(学年毎)	3	360	
		小計		980	
	特別教室				
		理科室(準備室含む)	1	135	
		音楽室(準備室含む)	1	145	
		美術室(準備室含む)	1	100	
		技術科室(準備室含む)	1	150	
		調理室(準備室含む・家庭科)	1	100	
		被服室(準備室含む・家庭科)	1	110	
		視聴覚室(機材室含む)	1	145	
		図書室	1	120	
		小計		1,005	
	共用部分				
		昇降口	1	80	
		ホール	1	180	
		生徒用男女トイレ(男女各20㎡×3階)	3	120	
		更衣室男女(男女各15㎡×3学年)	3	90	
		機械室	1	70	
		多目的トイレ(10㎡)	3	30	
		福祉用エレベーター	1	20	
		その他共用部(廊下・階段等)	1	940	
		小計		1,530	
	計			4,240	
			改め	4,300	

体育施設等		
	屋内運動場	1,500
	武道場	450
	付帯施設	90
	計	2,040
合計		6,340

(2) 管理諸室

○教職員数（想定）：32名　※資料８「教職員一覧」参照
・令和9年統合時の想定

○校長室
・校長室と応接室を一体として整備、職員室から直接出入り出来るよう計画
・学校の様子が把握しやすい位置を考慮

○職員室
・受付、放送室、湯沸室を含めて設置
・教職員が日常的に情報交換、交流ができるよう配慮、会議室を近くに配置
・職員室からグラウンド等も含め学校全体を見渡せる等、防犯対策や緊急対応しやすい配置、動線となるよう計画
・倉庫、書庫、印刷室を併設

○学校事務支援室
・職員室と隣接し事務職員用の学校事務支援室を設置

○保健室
・カウンセリング室を隣接させ、保健室から直接出入りできるようにし、相談室を近くに配置
・グラウンドから直接出入りできるよう配慮
・洗体を行えるようシャワースペースや給湯設備を設置

○会議室
・全職員の参加に配慮し、職員室に近接

○PTA室
・PTA活動のために設置、普段は小会議室として利用

○資料室
・統合する３中学校の同窓会資料や校史資料等を整理収納

○職員用更衣室
・職員用ロッカールームを男女別に設置

○職員・外来者用トイレ
・感染予防対策を考慮

○相談室
・生徒用相談室*2室

○配膳室
・学校給食の配膳に使用

○放送室
・生徒会活動で使用

(3) 教室等

○学級編成
・1学年：35人以下
・2・3学年：40人以下

○普通教室
・令和9年度（2027年度）：8学級
　－ 1・2学年：各3学級
　－ 3学年：2学級
・令和12年度（2030年度）：6学級
　－ 1・2・3学年：各2学級

・普通教室は各学年2教室、計6教室とするが、開校時、8教室必要であり、当初不足する教室については、多目的教室の一部を普通教室として使用する。
・面積は国標準74m2より広い80m2として計画する。
・一人1台のタブレット使用を前提とした対応とする。

○特別支援教室
・各学年1教室、計3教室
・教室面積
- 40m2*2教室
- 60m2*1教室

○多目的教室
・生徒同士が自由に教育活動や交流等ができる多目的教室を学年ごとに設ける。
・多目的教室は特別教室型とし、面積は120m2を想定
・普通教室80m2と少人数教室40m2に区分して利用できるよう計画

○特別教室
・理科室
- 準備室を併設
・音楽室
- 準備室を併設
・美術室
- 準備室を併設、掲示スペースを設置
・技術科室
- 準備室を併設
・調理室（家庭科）
- 準備室を併設
・被服室（家庭科）
- 準備室を併設
・視聴覚室
- 機材室を併設
・図書室
- 生徒利用の図書室を設置
- 司書1名を配置予定
- 開架のみ

○共用部分
・生徒用トイレ
- 各階に感染症予防対策を施した衛生面に配慮した生徒用トイレを設置
- 明るく清潔感にあふれた落ち着いた雰囲気とする
・生徒用更衣室
- 男女各学年別に設置
・多目的トイレ
- 各階にバリアフリー対応の多目的トイレを設置
・福祉用エレベーター
- 2階以上への給食運搬用にも利用
・その他
- 学年集会や様々な活動ができる多目的スペースを設置する
- バリアフリー・ユニバーサルデザインに配慮する
- 校舎では上下足を履き替える
- 学校の美化・環境を守るため生徒自らが清掃を行い、清掃委託は極力少なくする

(4) 屋内運動場

○バレーボールコート2面、バスケットボールコート1面が重複無しで配置
○振動や騒音対策に配慮する
○町が講演会や各種スポーツ大会にも利用できるよう広さを十分確保し、ステージ、器具庫、更衣室、トイレ等を設ける

○部活動の交流試合の際、保護者が応援できるよう2階等に応援スペースを設ける
○災害時の地域の避難所としても活用できるよう、避難所機能も備えた施設とする
○夜間には体育館の一般開放を行うので、利用者の利便性や管理に配慮する
○放課後、部活動として男女バレーボール部、男女バスケットボール部、男女卓球部が使用することを考慮する
○屋外からも利用できるトイレについて考慮する
○生徒の教室からの移動等については雨等に濡れないよう配慮する
○床面積：1,500m2程度

(5) 武道場

○柔道場（14.56m*14.56m）、剣道場（14m*14m）が重複無しで配置
○床面積：450m2（15m*30m）程度

(6) テニスコート

○ソフトテニス規格：4コート
・男女ソフトテニス部が2面ずつ使用することを想定

(7) 屋外運動場

○野球、ソフトボール、陸上競技（200mトラック）、サッカー場
○周囲に防球ネットを設置
○一般開放は行なわない
○冬から春にかけて蔵王おろしの西風が強いため、周辺住宅地への砂塵被害を抑制するよう配置を検討、対策を検討する

(8) その他施設

○屋根付き駐輪場：120台分（生徒用）
○駐車場：60台分（教職員、来客用）
○スクールバス専用駐車場：5台分　※中型バス（定員35人）
○屋外倉庫：40m2程度　※体育器具用倉庫、作業用倉庫
○部室：屋外運動部の用具収納部室10m2程度を5室=50㎡程度

※プール：専用のプールは設置せず、近くの蔵王町総合運動公園内の屋内プールをスクールバスで移動し利用する（基本計画から方針を変更しています。）

＜参考資料＞

資料１：蔵王町学校教育の重点施策「グローカル５」

資料２：蔵王町統合中学校　施設整備基本計画（令和３年３月）
※基本計画策定後、一部について変更のある事項があります。計画概要書を優先願います。
※ゾーニング、土地利用計画については、建築物の面積等の算定のための想定であり、プロポーザルの技術提案を拘束するものではありません。

資料３：位置図

資料４：敷地図

資料５：ボーリングデータ（近傍：ございんホール敷地内）

資料６：道路計画図

資料７：「蔵王山火山防災マップ　宮城版」（発行：蔵王山火山防災協議会）

資料８：教職員数の現状と統合時の人数

資料９：特別支援生徒数と特別教室必要数

資料１０：学級編制人数・年度別の生徒と普通教室必要数

資料１１：各中学校部活動状況（令和２年７月調査）

資料１２：全体スケジュール

資料１３：（参考）円田中学校時間割表